

令和5(2023)年度

## 学童クラブ事業年間活動報告書

山階児童館

活動の基本目標(指針)	主な取組名	成 果 と 課 題
生活援助機能	安全・衛生の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>火災・地震・水害・不審者対応の想定で毎月机上學習や避難訓練を行うことができた。</li> <li>夏には消防署職員に来ていただき、火災の想定で子どもや職員の動きを確認することができた。</li> <li>職員研修として警察署職員に来ていただき、不審者対応の実技訓練と講義を受けた。</li> <li>水害時の避難場所である山科身体障害者会館へ1年生を連れて行く。実際に避難場所に行くことでより現実味のある訓練となった。</li> </ul>
	子どもの状況等の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレットのタッチでの欠席確認を、ほとんどの子どもたちはスムーズにできている。</li> <li>本館は帰り方の変更が多く、見落としてしまうことがあった。ダブルチェックや報連相、ノートの活用(過去の保護者から聞いたものを残しておく)などをおこない、後半はミスを減らすことができた。</li> <li>欠席確認や帰り方の確認を丁寧に行った。また、ストレスを抱えたり気持ちは不安定になっている子へも丁寧にかかわった。</li> </ul>
	健康の管理・情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちへの声かけや確認を行い、特に食事・おやつ前はほぼ定着させることができた。一部の子には外遊びの後など個別に声をかけないと忘れがちなこともあった。</li> <li>ハンカチをもってきていない子、外付けポケットをロッカーに入れていて面倒がって使わない子などが見受けられた。引き続き、手洗い後はハンカチで手を拭くことを習慣化できるよう家庭と連携して声掛けを続けていく必要がある。</li> </ul>
	手洗い・うがいの励行	<ul style="list-style-type: none"> <li>帰宅後や外遊び後はもちろんだが、特に飲食前に消毒を行った。子どもたち自身も習慣として身についている子が多くいた。</li> </ul>
	手指の消毒	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの子どもが自然に挨拶できている。「ありがとう」「ただいま」等もしっかりと言える子が増えている。引き続き、自ら挨拶できる雰囲気づくりを大切にしていく。</li> </ul>
	基本的生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年生はおかえりの会の司会・おやつの準備手伝い・おやつの司会、2年生はお誕生会実行委員とおかえりの会での連絡袋配りを分担した。</li> <li>当番表を頼りに自分の役割を意識し、進んで当番活動に取り組む子が増えている。</li> <li>今年度4年生が多く在籍しており、高学年の役割や居場所づくりを意識していきたい。</li> </ul>
	社会生活技術の獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>新1年生を温かく迎え入れる「歓迎会」を新3年生が企画した。</li> <li>本館ではみんなで楽しむことができる「○×クイズ」や記念品渡しを、分室では、けん玉の技披露などの出し物や記念品渡しを、準備から当日の進行までがんばる。</li> </ul>
	当番活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期休みを中心に、子どもたちが主体的に「みんなが楽しめるもの」をテーマに「ドッジボール大会」や「UNOトーナメント」などを企画する。</li> <li>子どもたちが自分たちの学童クラブを楽しいものにしていことで、徐々に低学年の子どもたちも企画をし始め、全体として子どもたちが声をあげる雰囲気になってきた。</li> <li>企画には異年齢の子どもたちが参加し、交流の機会にもなっている。</li> <li>分室では、まだ子どもたちが主体的に取り組むことが少なかったので、子どもたちの意見を取り入れていきたい。</li> </ul>
	生活体験の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>本館では山科青少年活動センターの広いお部屋をお借りし、3年生の歓迎会担当者が中心となって全員で1年生を温かく迎える会をおこなうことができた。</li> <li>分室では、シンフォニールームで1年生のみで行った。次年度は全員参加で行いたい。</li> </ul>
	自主性・社会性の養成	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年生の役割であるお誕生会の司会の担当月を決めた。見通しをもって自分の役割を楽しみにしていた。</li> <li>今年度はお誕生月の子どもたちが主役感を味わえるように、お誕生月の子どもなぞなぞを行った。普段あまり関わりのない子どものことを知る機会にもなった。</li> <li>2年生が実行委員として自分たちで役割分担をして進行をする等主体性を發揮できる機会となっている。</li> <li>誕生会のおやつは、普段とは違う特別感のあるものを選び、当日欠席していた子へも後日配付した。</li> </ul>
子ども育成機能	1年生あそび	1年生に様々な遊びのルールを覚えてもらう機会になった。
	けん玉れんしゅうbingo	けん玉に楽しく触れる機会になり、けん玉検定につながった。
	けん玉検定	初めての検定として自分なりの目標をもってがんばっていた。
	けん玉交流会	けん玉れんしゅうbingoもあり、例年よりも検定への参加意欲が高いように感じた。
	お誕生会実行委員	けん玉検定のつながりで、けん玉を通して本館・分室との交流をすることができた。
	3年生会議	地域のけん玉名人に来ていただき、子どもたちにとって貴重な経験となった。
	ブチピクニック	各月のお誕生会前に、担当の子どもたちが練習をする。緊張しながらも、みんなの前で司会をする良い機会となっていました。
	おかげものごっこ	歓迎会、お買い物ごっこ、長期休みの昼食準備などの役割分担や遊びのルール(ドッヂボールなど)と一緒に考えるなどの、話し合いをおこなう。学童クラブのリーダーとして、様々なところで活躍してくれた。
		コロナ禍で遠足がなかなか行けなかったため、子どもたちにとって貴重な体験となった。
		職員側にとっても、初めての外出になり、課題を発見することができた。

自立の促進と自主性の尊重	七夕かざり	・季節の工作として、工作や折り紙に触れる機会となっている。 ・地域の方から筆もいただき、地域とのつながりにもなっている。
	マンカラ週間	・1年生のほとんどがマンカラを知らず、新しい遊びを知る機会になった。
	特別検定	・高学年が放課後検定を受ける時間がないため、夏休みに救済措置としておこなう。しかし、分室は夏休みも休んでいる子どもが多かった。本館は、ほとんどの子どもが長期休み以外も来ていたため、参加しなかった。実施するのか検討が必要。
	こま検定	・それぞれの努力や頑張りを認めながら、学童ならではの取組ができた。
	干支の貼り絵作り	・毎年恒例である干支の貼り絵を行う。自分の分だけではなく、いつもお世話になっている地域の方へのお礼を込めて、丁寧に作成することができた。
	モシカメ記録会	・記録会のカードは頑張りが目に見える形にしたため、たくさんの子どもたちが楽しむ機会になった。
	大そうじ	・子どもたちが自分たちが使っている児童館・分室を丁寧に掃除することができた。
	リベンジ検定	・けん玉、こま、モシカメ検定で悔しい思いをした子どもたちがもう一度頑張って挑戦した。再度頑張る気持ちの育みにつながった。
	新3年生会議	・来年度に向けて、現2年生に新3年生として頑張ってほしいことを話した。来年度に向けての意識づくりになった。
	おわかれ会	・おわかれ会実行委員の活躍の場となつた。またみんなで遊ぶゲームもおこない、集団遊びの経験となつた。
子育て支援機能	あそびボランティア	・年間を通して地域の方が来てくださっていた。子どもたちも親しみを感じ、職員だけでなく色々な人たちに育ちを支えられていることを感じる機会になつている。
	個人懇談	・新規入会者と希望者を対象に5月、その期間休会していた家庭で希望する家庭は個別に連絡をとり、懇談の希望の有無を調査する。落ち着いて子どもの様子を話し合い、その後の保育等に生かすことができている。また、保護者と信頼関係を築ける場となつた。
	育児相談	・お子さんのしんどさなどを保護者から聞いて、個別に話を聞く。児童の過ごしやすさ、保護者支援になつている。
	入会説明	・子どもたちの生活の流れや活動について説明を行うことで、安心して預けてもらえる土壌作りを行つた。 ・個別相談に応じることで、保護者の不安感を少しでも取り除けるようにした。
	保護者懇談会	・年2回実施。おたよりでは伝えきれない日常の子どもたちの様子や成長・課題について、また、長期休業中の行事予定や生活について話をした。保育場所別でできるだけ時間を短縮して行つ。
	登録申請説明	・登録説明会に参加できなかつたご家庭を対象におこなつた。
	学校との懇談	・学校の先生と個別の子どもへの対応について、共通理解を図ることができた。
	PTA夏祭り	・PTA主催で学校でおこなわれた取組だが、学童クラブに出席している子どもたちも参加させてもらえることができた。
	保護者会交流会	・保護者の方と子どもが一緒に楽しめる時間になつた。
	学童クラブ登録説明会	・新規入会者を対象に、登録申請の方法を伝える。継続家庭には、登録申請の手順書を郵送し、書面を見ただけで申請が出来るように工夫した。
子育ての仲間づくり	保護者会役員会	・保護者会役員会に職員が出席し、保護者との交流を図り、保護者会活動の援助を行つた。総会は引き続き書面決議だったが、役員会は定期的に開催されており、今後の保護者会について前向きな変更点も多くあつた。
	子育てを支えるネットワーク形成	

## 令和5(2023)年度学童クラブ事業年間活動報告書

山階児童館

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童	ボランティア	その他	合計	内 容
		1年	2年	3年	4年	5年	6年					
生活援助機能												
避難訓練	21	311	341	278	104	8		12	7	2	1	1064
子どもの状況等の把握	毎日											
手洗い・うがい・消毒の励行	毎日											
挨拶の励行	毎日											
雪遊び活動	毎日											
朝の会	1回目・食事休み											
お掃りの会	毎日											
下廊・帰路の安全確認・指導	毎日											
身の回りの整理整頓	毎日											
子ども育成機能												
歓迎会・話し合い	1							7				
やってみよう企画	20	95	78	67	47							287
歓迎会	1	26	18	22	13					1		80
2年生会議	1		21									21
お誕生会	21	380	389	294	144	12						1219
1年生あそび	7	120										120
けん玉れんしゅうbingo	32	187	119	110	60			1				477
ブチピクニック	1	7	9	4	2	1				1		24
けん玉検定	10	64	48	39	26							177
けん玉交流会	1	2	3	3						1		9
お誕生会実行委員	4		10									10
おかしいものごっこ	6	102	88	84	42	5		2				323
七夕かぎり	4	17	16	8								41
マンカラ週間	9	32	20	20	10		1	1	1			85
特別検定	1											0
おべんとういらないDAY	1	43	40	33	19	5						140
こま検定	12	52	34	30						1		117
干支の貼り絵作り	11	18	24	8		1						51
モシカメ記録会	12	30	51	25	10	2						118
3年生会議	5			60								60
クリスマスイベント	1	25	20	20	9							74
大そうじ	2	29	21	17	5	2		3	5	1	2	85
リベンジ検定	7	33	32	9	5					1		81
おわかれ会実行委員	5			46								46
新3年生会議	5		53	13								66
おわかれ会	2	32	29	22	9	1						93
子育て支援機能												
あそびボランティア	285									293		293
個人懇談	20										41	41
育児相談	4									4		4
入会説明	15									58	58	
保護者懇談会	7	7	2	3						2	102	116
保護者会役員会	7							2	1			62
学校との懇談	3										7	7
PTA夏祭り	1	23	13	16	8	1						61
保護者会交流会	1	18	18	16	3	1				7	41	104
学童クラブ登録説明会	1							1				39
登録申請説明	9										13	13

※注1 行事名は、（1）生活援助機能 （2）子ども育成機能 （3）子育て支援機能に分類して記入すること

※注2 2クラス以上のある館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること